



ハイウェイ九条を考える会

№9 2009・8・1
連絡先 〒334-0001
鳩ヶ谷市桜町 6-13-16
森 克彦 048-283-3183
清水 昇 043-291-7293

ハイウェイ九条の会ホームページ <http://www3.nns.ne.jp/pri/toshi601/>

終戦時の体験・平和憲法への回想

吉田 稔 (呼びかけ人)

終戦時の体験

私は終戦時(昭和20年8月15日)、山陰の山村の国民学校(小学校)6年生であった。私たち6年生には縁故疎開者約15人がいたし、5年生には神戸市の真陽小学校からの集団疎開者が数多くいた。忠君愛国の思想と軍事教育(竹やり訓練等)を受け、他方炭焼(1日に原木10本が割当て)と学校管理の稲作と校庭を耕した畑作等過酷な労働に従事していた。食糧事情も最悪で、主食の配給も、いわゆる2合5勺で、栄養失調の脚気で足がむくむ者が多く、健康維持の極限だった。特に、みぞれ雪のなかでの農(林)作業は辛酸だった。それでも「負けられません勝つまでは」の軍事教育に洗脳された私達は誰にも負けない軍国少年を自負していた。だから20年8月15日、全校生徒が集められ、終戦のラジオ放送を聞いたとき、私は敗戦を信じることができなかった。呆然と日々を過ごし、敗戦の事実を知ったとき、もうどうにでもなれとする退廃的な風潮が生まれた。私たちは終戦から2年後に小学校高等科2年から新制中学3年生に編入された。私たちと1級下のクラスまでは義務教育ではなくて、進学できたのは生活苦等で3割強であった。戦前の国定教科書は日本歴史を始め殆ど使えなかった。

数年後私たちは、クラス会を断続的に催してきたが、疎開者のうち10名ほどの女生徒が連絡不能である。おそらく戦後神戸市等に帰ったが家を焼かれ、親も行方不明等々で、悲惨な生き方を余儀なくされたのも事実である。

私の周りにもこのような戦争の犠牲者がいたこと、

更には終戦直前、象徴的には今井正監督が映画化した「ひめゆりの塔」の女子生徒たちの悲嘆きわまる最後、20年3月10日の東京大空襲、広島、長崎への人類最初の原爆投下等々による犠牲者、更には第2次大戦の戦没者が2百数十万という事実を知ったとき、ここに非戦を誓った平和憲法の生誕の背景には、人間性を否定する酷烈な戦争体験があったことは明らかである。人類初の英知の所産たる平和憲法第9条を維持することは次の世代への私たちの伝言でもある。

平和憲法への回想

敗戦による混迷と虚脱感のなか、昭和21年11月3日、日本国憲法が公布されてから僅か4年後に朝鮮戦争が勃発し、占領下にあった日本はマッカーサーの命令で、事実上の再軍備となった警察予備隊が発足。27年には覇権国家(帝国主義)アメリカとの隷属的な平和条約と日米安保条約(注:35年に改訂)の締結。この頃から集団的自衛権を是とする風潮が生まれた。31年には九条廃棄をめざした憲法調査会が発足。32年7月には砂川事件勃発。(立川米軍基地拡張の強制測量で警官隊と衝突、指導者の一斉検挙)。34年の東京地裁の伊達判決は米軍駐留を違憲とし、砂川事件に無罪判決を下したが、上級審では、違憲ではないとするいわゆる合憲のお墨付き判示であった。

この頃私は、地方の大学で自治会活動に関与し、全学連の運動に断続的に参加するため、東京の学生会館に泊ったり、夏休みには東京代々木に会った「日ソ学院」で、配給食を食べながら諸活動に参画した。憲法については護憲学者の戒能通孝、長谷川正孝、鈴木安蔵、帝国主義又は植民地主義については具島兼三郎、岡倉古志郎等々の講義(講演)を聞くとか、この人たちの図書を乱読した。

40年には、日本が侵略を受けたときの軍事演習

——— 次頁に続く ———

計画（三矢研究）が暴露され、48年から51年には長沼ナイキ基地訴訟で、札幌地裁は違憲判決を下したが、高裁では訴えの利益なしとしてこれを退けた。そしてこの平成20年4月17日、名古屋高裁において「航空自衛隊がイラクで行っている輸送活動は9条1項が禁止する武力行使に当たる」と違憲判決が下されたが、派兵の差し止めについては敗訴であった。所詮、裁判官も時々の権力者（国）が選んだ者だから権力者に迎合するのは必然かもしれない。砂川事件の判決前に駐日アメリカ大使が最高裁長官に会っていたことが最近露呈したこともその証であろう。また最近警察、検察もファッション化が進んでいることは注視しなければならない。

朝鮮戦争に参戦したアメリカは、37年には膨大な軍事力（化学兵器）をもってベトナムに介入したが、50年には最終的に敗北撤退した。しかしその後アフガニスタン、イラクと侵略戦争を展開し、安保条約上、隷属的な日本は有形無形に参戦してき

た。結局、改憲を標榜する権力者は、なし崩し的に憲法9条を蚕食し、情報操作をして、例えばイラク戦争時、その動機を「大量の化学兵器保持」から「独裁国家」に転換しながら、あたかも正当な戦争であるかのように、侵略を肯定してきた。

特に最近は何新聞でも、軍備を持ってない日本の軍事力は世界7位の463億ドル（注：アメリカは6070億ドル、中国は849億ドル）とか、北朝鮮を念頭に敵基地を攻撃する能力の保持とか、北朝鮮に対する船舶検査法の改正とか、ソマリアへの海上自衛隊の派遣とか、なし崩し的な憲法9条の蚕食には枚挙に事欠かない。

77才の老醜、私の頭のなかでは、戦争の体験、学生時代の運動、静岡地区労の常任幹事だった頃の活動等を回想しながら、平和憲法が風化しないよう、平塚市の9条を守る会への参画、小林多喜二を偲ぶ会等に参加している昨今である。

=====

ハイウェイ九条を考える会も 小さな旗があればなあ

京都市 西村 正弘

憲法記念日の前日、京都市の円山音楽堂で憲法九条京都の会主催による「今、9条が輝くとき、生かそう憲法、守ろう9条 5・2憲法集会 in 京都」が開かれ、ハイウェイ九条の仲間3人で参加してきました。

新緑と雲ひとつない青空のもと、4,600人が詰めかけ、9条を守ろうとの熱気に満ちた集会でした。

瀬戸内寂聴さんは「いのち」と題して講演、女学校時代は戦前の教育に何らの疑問も感じていなかった、正しい戦争と信じていた。中国で終戦を向かえたとき、自分はもう日本に帰れないかもしれないと思った。日本軍が中国人に対して非人道的な行為を行ったにもかかわらず、中国人は罪を仇で返してはならないと、寛容であった。と、実体験をもとに話され、「どんな美辞麗句を並べても、戦争は人殺し、許されるものではない。



私は戦争に反対するため、命をかけてやろうと思っています」と自らの決意をのべられました。

ノーベル物理学賞受賞の益川敏英・京産大教授は「戦争に費やす損失を決意するくらいなら、国同士の交渉において、外交努力で解決できない問題はない」と力をこめて訴えられ、時々ユーモアを交えながら「とにかく私は戦争が嫌いです」と言い切って大きな拍手でスピーチを終えられました。

今回は少人数で集会に参加したにとどまりましたが、今度は早くから準備して、もっと多くの人と参加したいと思っています。

また、集会では多くの団体などが旗やのぼりを持って参加されていましたが、私たちハイウェイ九条を考える会も、小さな旗でもあればなあと思いました。

東京に来たら 東京大空襲・戦災資料センターへ！

世話人 白鳥 由一

「いらない物は何か」の問いの第1位は「戦争」第2位が「たばこ」と言う子供へのアンケート結果がテレビで報道されていた。

子供が戦争について、学校で教えられているとは思えないが、1位に戦争と出てくるとは意外であった。将来を担う子供の期待に答えるように大人も子供も戦争についての学習が欠かせないのでは、と思う。

64年前の戦争で、日本全国の約100か所で行われた米軍の爆撃、その一つが東京大空襲である。一夜にして罹災者が100万人を超え、10万人もの尊い命が失われた東京大空襲を学習できるのが「東京大空襲・戦災資料センター」である。

東京大空襲・戦災資料センターの2階でNHK特集「東京大空襲」のビデオが約25分で視聴できる。ビデオは「無差別爆撃の始まりであった」で終わる。

部屋の壁には空襲を描いたさまざまな絵画（その1枚が井上俊郎氏の「焼死体の山」である）や写真、焼け残ったピアノなどがあり、体験者から犠牲となった多くの方々が仮埋葬された場所を記した空襲被災地図の説明や展示物の説明を聞くことができ当時の惨状が伝わってくる。

3階には、実際に投下された焼夷弾や焼け焦げた衣類などの被災品、体験者の手記などが展示されていて戦禍が生々しく伝わってくる。また、当時の学校教育の文書や教科書などが展示されていて戦中の教育内容がよく分かる。このセンターに来て見ると、戦争・空襲を絶対に再び繰り返してはならない、平和の大切さを改めて感じる。

東京大空襲・戦災資料センターは、1999年に東京都の「平和祈念館」建設計画が凍結になったため、「記録する会」と財団法人政治経済研究所が民間募金を呼びかけ、4000名を超える方々の協力を得て2002年3月9日に戦禍の最も大きかった江東区北砂1丁目に民立民営で開設されている（私の現在住居は、北砂4丁目）。

東京大空襲に関して、昨年12月24日に渋川北九条の会での記念集会で「1945年3月10



「焼死体の山」井上俊郎氏画

日未明に救援に行き言問橋の無数の遺体を踏みつけて渡ることができず、千葉に引き返した。その時の光景が60年たっても目に焼き付いて離れません。」との体験者の話が新聞で報道された。また、昨年12月26日には日本テレビで東京大空襲のドキュメントドラマが放映されている。

＝戦災資料センターへのアクセス＝

JR「秋葉原駅」中央口改札出て左の2番バス乗り場から都バス<葛西駅行き>（秋26）で35分、「北砂1丁目」下車徒歩2分（バス停車前交差点をバス進行方向で左折する）

会計報告

2006年7月発足時から2009年5月27日現在の収支は、以下のとおりです。

収入	協賛金（122件）	1,145,839円
支出		
	会報印刷発送費等（第8号まで）	594,764円
	講演会経費	102,420円
	会議費及び諸経費等	309,790円
残金		138,865円

お願い：この会の運営費用は、有志の方々の協賛金を充当してきました。約一千名を繋ぐ会報は、私達の宝です。憲法に係る国民投票が実施されるまで、充実して発行を維持するために、皆様の一層のご協力を心からお願いします。

主な出来事

- ◎ 3月27日、オバマ大統領はアフガニスタンについての包括戦略を発表。既に決定している1万7千人の増派に加え、アフガン軍の訓練要因として4千人追加派兵すると明らかにした。
- ◎ 4月5日、北朝鮮は「人工衛星」だとするロケットを発射した。
- ◎ 4月7日、自民党の山崎拓元副総裁は派閥セミナーで講演し、「朝鮮半島非核化こそが目標でなければならない」「向こうが(北朝鮮)が核武装なら、こちら(日本)も核武装という議論が公然と自民党内の会議で言われている。逆に北朝鮮の核武装を是認することになり、人類を破滅に導く議論だ、警鐘を乱打したい」と批判した。
- ◎ 4月21日、麻生首相は21日から始まった靖国神社の春季例大祭に合わせ、「真榊」の奉納料5万円を私費で納めていたことが分かった。「内閣総理大臣 麻生太郎」と記された木札が飾られている。
- ◎ 4月24日、民主党の鳩山幹事長は記者会見で「民主党が政権を取ったときに当然、憲法改正の議論を大きく起こしてゆきたい」と発言する。
- ◎ 5月13日、米国領土の米軍基地に日本の税金を投入する、在沖縄米海兵隊のグアム「移転」協定の承認案が参議院本会議で反対多数で否決された。4月14日に衆院では賛成多数で可決されており、憲法の規定により衆院の議決が優先され協定は承認された。
- ◎ 5月25日、北朝鮮は2006年に続く2回目の核実験を行った。北朝鮮の核実験は、国連安保理決議に違反し、6カ国協議の合意と約束を踏みにじる暴挙である。
- ◎ 5月28日、海賊対策を名目にソマリア沖で行われている海上自衛隊・護衛艦の活動に参加するため、海自のP3C哨戒機がソマリア隣国のシブチ協和国に向けて出発した。海上警備行動として実施するもので、海外任務に就くのは初めて。派遣部隊の規模は150人。
- ◎ 6月1日、1960年の安保条約改定に際し、核兵器を積んだ米軍の船舶や航空機の日本立ち寄りを黙認することで合意した「核持込」に関する密約は、外務

次官らが引き継いで管理し、官僚側の判断で一部の首相、外相だけに伝えていたことが31日分かった。4人の次官経験者が共同通信に明らかにした。

- ◎ 6月11日、自民・公明の与党は衆院本会議で、改憲原案の審査権限を持つ憲法審査会の規程案の採決を強行し、賛成多数で可決した。
- ◎ 6月12日、国連安全保障理事会は2度目の核実験を強行した北朝鮮に対する決議を全会一致で採択した。核実験を安保理決議違反として「最大限の表現で非難する」と強調。
- ◎ 6月19日、自民、公明両党は衆院本会議で自衛隊の海外派兵を拡大する「海賊対処」派兵新法案を3分の2の賛成多数で再議決し成立させた。同法案は同日午前の参議院本会議で野党の反対多数で否決されたもの。

戦争はつくづくイヤだね！

いやだ！イヤダ！いやだ！絶対にイヤだね！

「ガンジーはどう思っていたか知らんが、私は無抵抗主義なんです・・・」

終戦のとき私は小学校四年だった。おやじは戦争に行っちゃってて飢えて飢えて物凄かった。もう二度といやだ！と思った。戦争はイヤダ！つくづくいやだ！と思った・・・

私はガンだから云う訳じゃないが、やられたらしゃあないというつもりで生きてきた。

非武装・中立を社会党が云っていたでしょ、それも一理あると思っていた・・・

絶対にイヤだね！戦争をするのは・・・

(第一回呼びかけ人会議での益岡さんの発言より)

わずか2分半ほどの発言中「いやだ！」を四回繰り返している。これこそ氏が一番伝えたかったことに違いない。

戦争と云うあやまちを二度と繰り返さないために私は温もりのある人間のこころと理性を信じて命ある限り歩み続けようと思う。益岡さんのように・・・

世話人 森 克彦

この会の活動費の大部分は、「会報」の発行・送料に使われています。金額の大小を問わず協賛金にご協力をお願いします。

協賛金振込口座 ちば興業銀行 佐原(さわら)支店・(店番号820)

口座名義 西岡幸雄(ニシオカユキオ) 口座番号 普通預金 1016510